

「主体的に学習に取り組む態度」
を見取りたい！

中学校国語科

見取り方例
シート集



はじめに

すでに小学校において実施されている3観点からなる学習評価が、令和3年度より中学校でも実施されますが、すでに実施している小学校においても、「主体的に学習に取り組む態度」の見取りについて、“よく分からない”という声をよく聞きます。

そこで、「指導と評価の一体化」参考事例を基に研究しました。各校で取り組まれている「振り返り」が評価の見取りの一つとして使えないかと思い、日常の振り返りで評価することができる「主体的に学習に取り組む態度」の見取り方例を作成しました。

あくまで見取る際の「例」であり、また「主体的に学習に取り組む態度」の全てを振り返りで見取るわけにはいきませんが、“現場で活用できるものを作りたい”という一心で本書を作成した次第です。

従来の「関心・意欲・態度」の見取り方として先生方自身が行ってきたこととの比較や、「主体的に学習に取り組む態度」の捉え方について、本書を通して触れていただくことができれば、また、少しでも先生方のお役に立つことができれば、これ以上うれしいことはないですし、研修員冥利につきます。

最後に、作成にあたりたくさんの先生方にご協力、ご指導いただきました。この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

令和2年度長期研修員 新井敏弘

主体的に学習に取り組む態度について

～「学習指導要領」と『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』を基に～

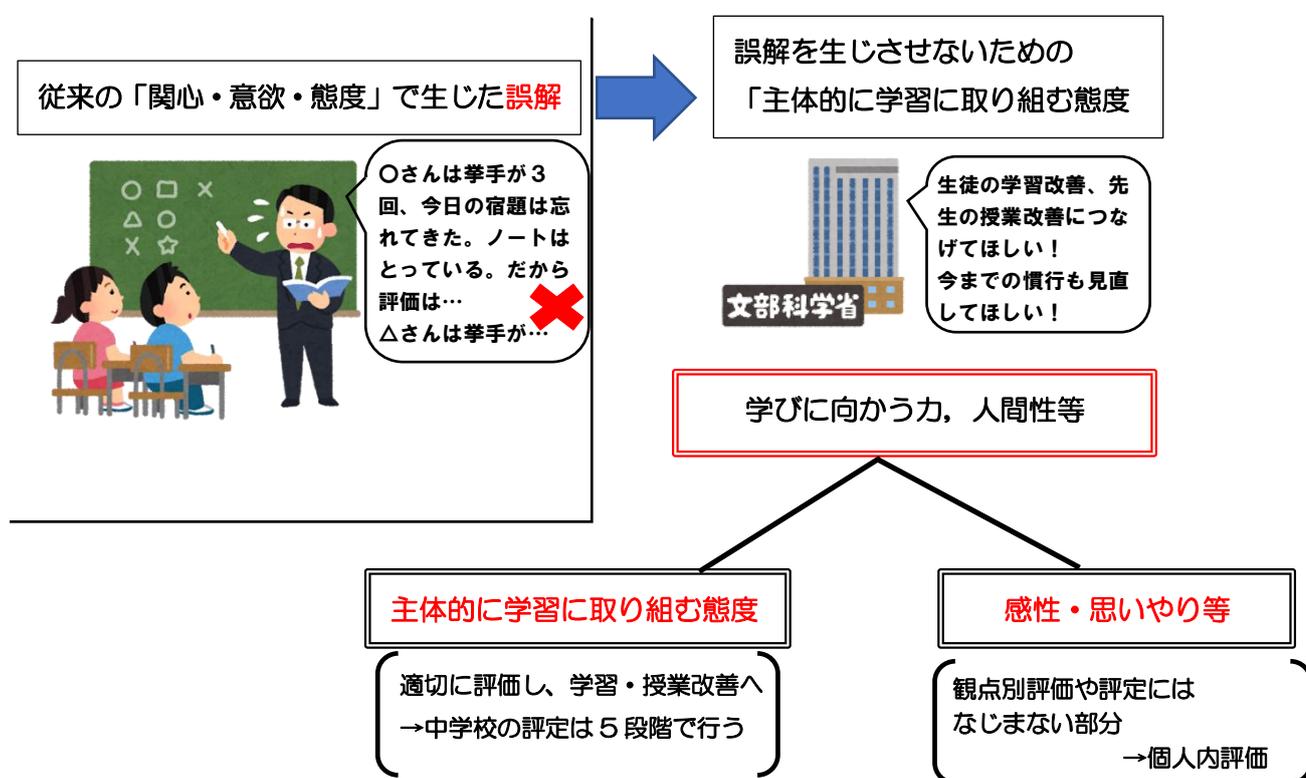
1. なぜ名称が変わったか？

従来の「関心・意欲・態度」から「主体的に学習に取り組む態度」に名称が変わりました。これは、評価について、今までの課題として、「挙手の回数」「毎時間ノートをとっているか」「課題や宿題の提出状況」など、一時的に児童生徒から表れた場面で見取るような誤解を払しょくしなければならないというメッセージが込められています。要するに、今までの「関心・意欲・態度」という名目で起きてしまった誤解を正すためにふさわしい名称にしたと考えられます。評価の在るべき姿として、

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

この3点に重点が置かれたのが新評価であり、主体的に学習に取り組む態度もこの考えを基に見取っていくことが必要になります。

なお、「学びに向かう力、人間性等」には、感性や思いやりなど、評価評定には示しきれない個人評価が含まれます。感性や思いやり、一人一人のよい点や可能性などについては、個人内評価として通知表や要録の所見、また日々の学校生活等で伝えるべきと考えられます。



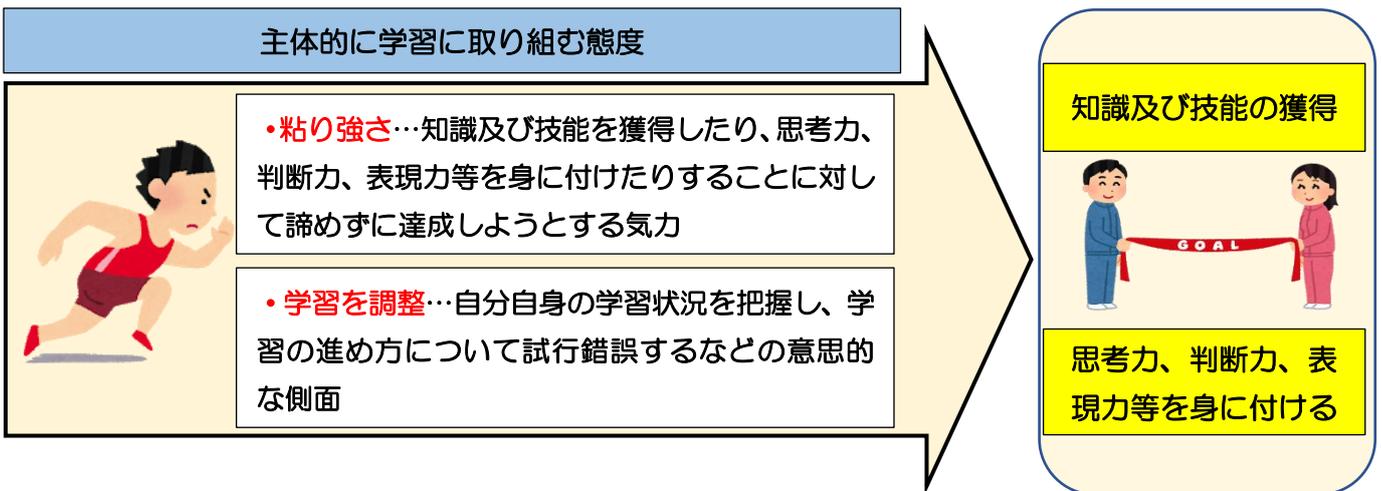
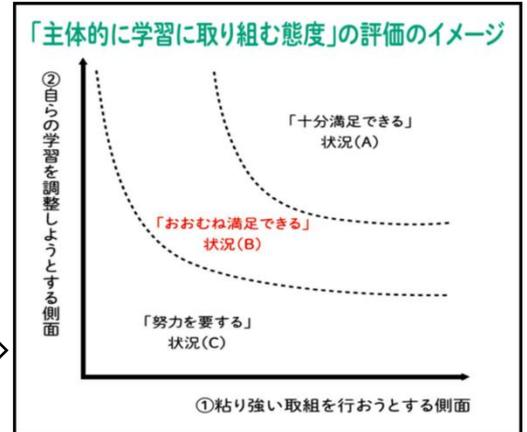
2. 主体的に学習に取り組む態度とは何か？（考え方）

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」では「主体的に学習に取り組む態度」について、「子供たちが自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たな学習につなげるといった、学習に関する自己調整を行いながら、粘り強く知識・技能を獲得したり思考・判断・表現しようとしたりしているかどうかという、意思的な側面を捉えて評価することが求められる」とされています。更に、この資質・能力の育成について、「生涯にわたり学習する基盤を形成する上でも極めて重要である」と明記しています。

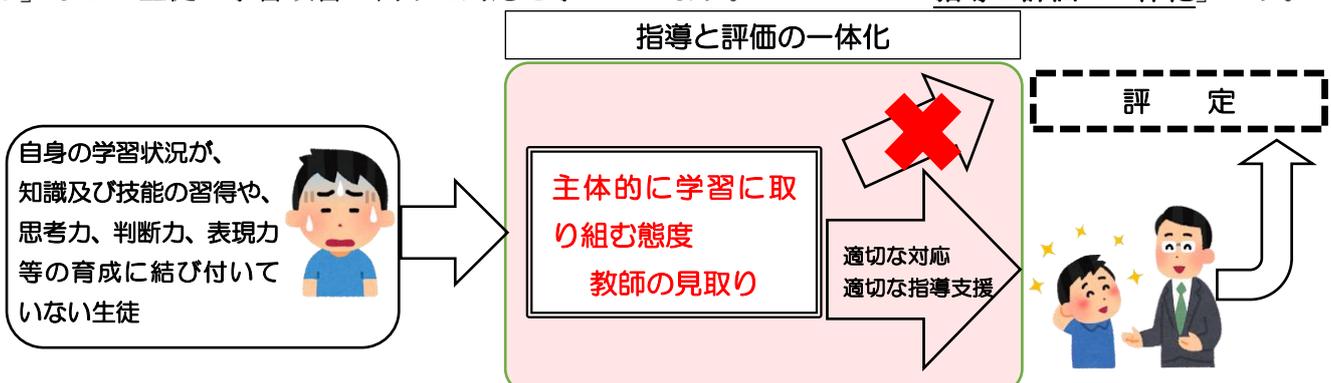
つまり、「主体的に学習に取り組む態度」には、

① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面

② ①を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面があり、この二つの側面で評価することが、主体的に学習に取り組む態度を評価することになります。

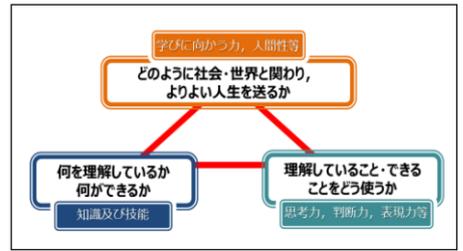


また、評価を指導に生かすことも求められています。国は、「生徒の学習状況が知識及び技能の習得や、思考力、判断力、表現力等の育成に結び付いていないとき、それらの資質・能力の育成に向けて生徒が適切に学習を調整することができるよう、その実態に応じて教師が学習の進め方を適切に指導する」などの生徒の学習改善に向けた対応を求めています。このことが「**指導と評価の一体化**」です。



3. 主体的に学習に取り組む態度をどう評価していくか？（評価の仕方）

「知識及び技能」を獲得したり、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために必要な態度として「主体的に学習に取り組む態度」の育成が求められています。したがって、他の2観点と切り離して考えることはできません。

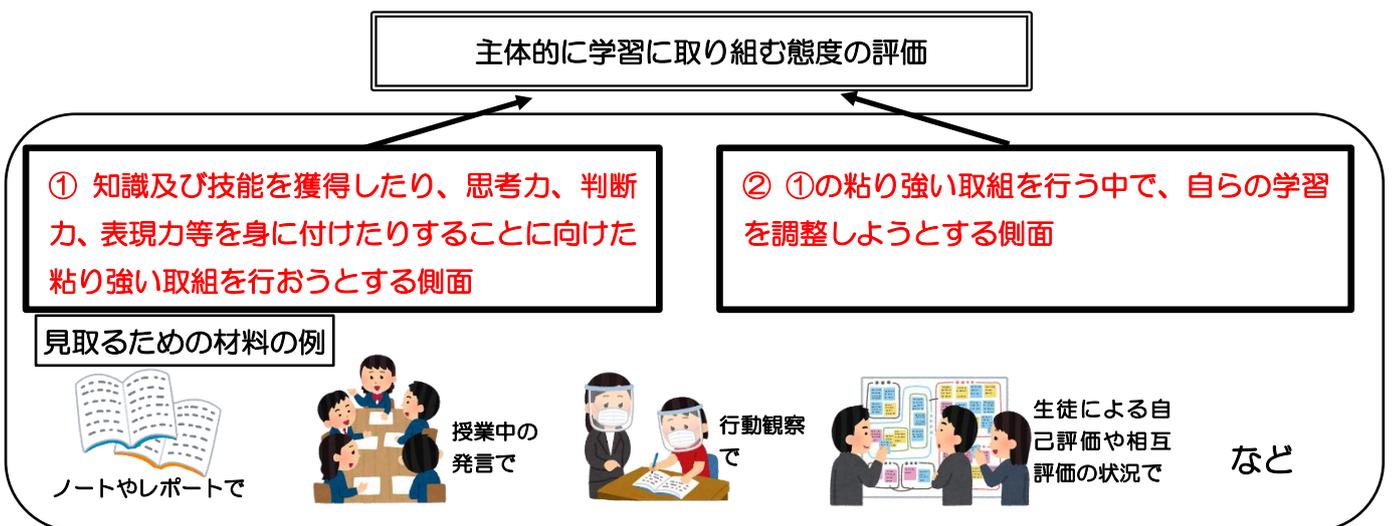


主体的に学習に取り組む態度では、“何を学んだか”ではなく“どう学んだか”、単に学習活動への関心だけではなく、よりよく学ぼうとする学習の過程を評価することが大切になります。

具体的に評価する際の材料としては、

- ノートやレポート等における記述
- 授業中の発言
- 行動観察
- 児童生徒による自己評価や相互評価等の状況

が例として挙げられています。（『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料）より）



4. 「主体的に学習に取り組む態度」と「見取り方例シート」のつながりは？

授業中の発言や行動観察で見取る部分は大切ですし、評価に加味すべき材料として扱えますが、30～40人の1クラスの1授業の中で、すべての生徒の発言、行動を観察し、評価として見取るのは現実的には困難です。

そこで、「見取り方例シート」では、

- ノートやレポート等における記述
- 児童生徒による自己評価や相互評価等の状況

を取り入れて、日常の授業で行っている「振り返り」を、評価を見取るための主な材料としました。

現在各校において、「振り返り」が日常の授業で定着している学校が多いと思います。先生方の学校で実践されている「振り返り」を、主体的に学習に取り組む態度の評価に利用することができれば、新たな評価への負担感や不安感が軽減できると考えました。

5. ここで改めて、「振り返り」とは？

このシートで述べる「振り返り」とは、**単位時間または単元の終了時に行う、生徒自身が学習を振り返る活動、またはその活動によって記された文章を指します。**

国語科において、「まとめ」と「振り返り」の差異については学校によって扱い方が様々です。漢字や文法学習等、「知識及び技能」を習得する場面などでは、算数・数学のそれのように本時の学習内容を明確にした「めあて」を受けて、分かったことやできるようになったことをクラス全体で整理、確認し、同じ事柄を書けるものが「まとめ」だと考えられ、「振り返り」と区別することも可能だと考えられますが、「思考力、判断力、表現力等」を身に付ける場においては適さない場合も考えられます。「まとめ」と呼ぶか「振り返り」と呼ぶかは別にして、生徒自身が自分の言葉で本時に学んだことを振り返る活動を、「主体的に学習に取り組む態度」を見取る場として設定し例示したものが「見取り方例シート」と捉えていただきたいと思います。

6. 見取り方例シートの使い方は？

見取り方例シートには、内容のまとめ（各指導事項）ごとの簡単な学習計画例と、主体的に学習に取り組む態度を評価する場面例及び評価規準例を示しました。また、評価 B に満たない生徒や記述が困難な生徒に対する声掛け等の支援例も一緒に載せました。

なお、**振り返りを書くためのシートはあえて作成しておりません。各校で実践されている振り返りの形式等を、そのまま見取り方例シートに当てはめていただきたいと思います**と考えたからです。

見取り方例シートは、**主体的に学習に取り組む態度の評価における一部**です。実際の評価にあたっては、見取り方例シートに示した振り返りの記述だけでなく、評価の材料の例等を用いながら総合的に見取り、先生方も生徒も、みんなが納得できる評価にしていきたいと思います。

①シートを使いながら単元計画を作成する。

まずは指導要領（校内の年間計画）で指導事項を確認します。指導事項に沿った教材（教科書、新聞記事、文学作品、ポスター等）に生徒の実態を加味して、見取り方例シートの「インデックス」から見取り方例シートの学習計画を見ます。評価計画も含めた単元計画が作成できます。

②授業で生徒の状況を把握する。

単元計画に合わせて授業を行います。生徒が振り返りを書く際には必要に応じて支援をします（シートの「評価 B に満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」参照）。振り返り記入後は回収して「規準例」と照らし合わせ、生徒の状況を把握します。見いだした課題は授業改善や生徒の支援に生かしましょう。

③授業で記録に残す評価をする。

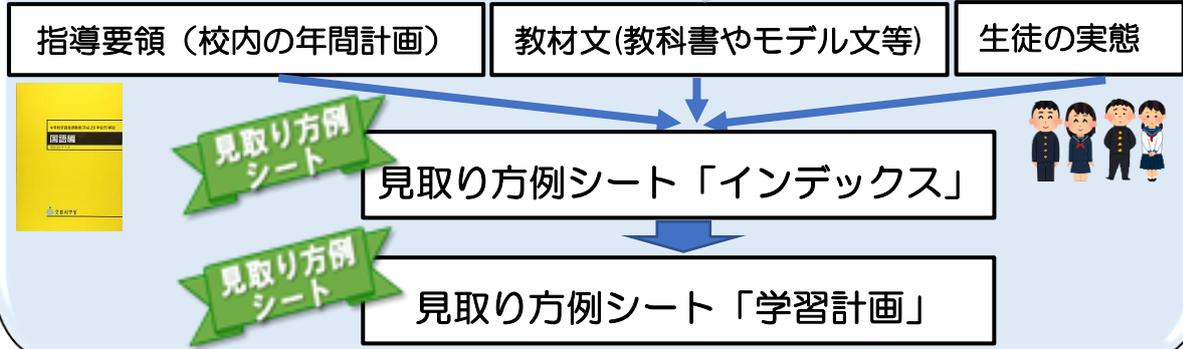
単元の最終段階の授業で振り返りを行います。この場でも、生徒を適切に支援しましょう。

④授業後に総括的な評価を行い、生徒の状況を基に次の関連単元に生かす。

振り返りを「規準例」と照らし合わせ、記録に残す評価を見取ります。把握した生徒の状況は次の関連単元に生かしましょう（①へ戻る）。この①～④の流れを繰り返すことにより、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」は向上するはずです。

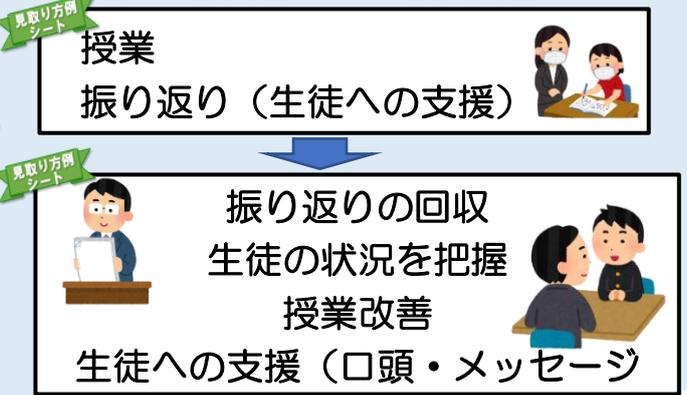
①単元計画の作成

- 学習計画の作成
- 評価計画の作成



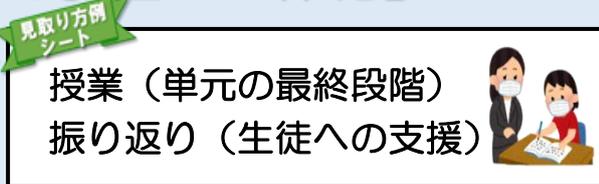
②授業時の「指導と評価の一体化」

- 指導に生かす「主体的に学習に取り組む態度」の見取り



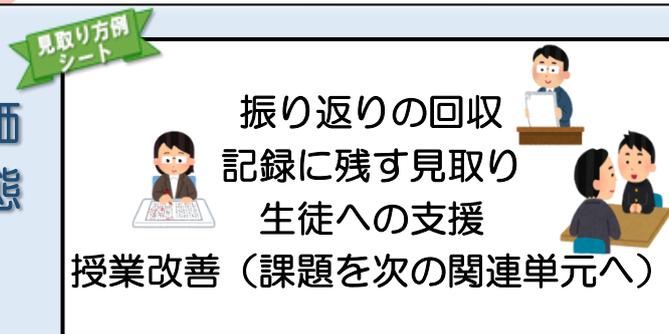
③授業時の「指導と評価の一体化」

- 記録に残す「主体的に学習に取り組む態度」の見取り



④授業後

- 単元の総括的な評価
- 把握した生徒の実態を次の関連単元に生かす



見取り方例シート 凡例

③ 1～3の内容は「例」なので、学校の実情や生徒の実態に合わせ、工夫して単元計画に生かしてください。

「見取り方例」(第2学年)

対象学年

領域 話すこと・聞くこと

学習指導要領、「思考力、判断力、表現力等」の領域

指導事項	ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。
言語活動	部活動について調べて分かったことや考えたことなどに基づいて発表したり、質問や助言をしたりする活動。
単元名 (めあて)	「新入生に自分の言葉で部活動について自分の考えを伝えよう」 (部活動紹介リハーサルをしよう)

学習指導要領の「指導事項」

学習指導要領「言語活動例」を参考に作成

各教科書の単元を参考に作成
「言語活動を主にしためあて」
(活動内容を主にしためあて)

1. 単元名 図表を用いて提案する (4時間)

単元全体の学習計画

「主体的に学習に取り組む態度」は○数字の時間に主に見取することを想定しています。

2. 学習計画 (○数字は見取る場面)

- (1) 単元のゴールへ向けて生徒が見通しをもち、図表を用いて提案するために、どのような順序で活動すればよいのかを生徒が計画し確認する。
- (2) 部員アンケートなどの調査・取材を行い、収集した情報を基に資料を作成する。
- (3) プレゼンテーションのための台本を作る。
- (4) 部活動紹介集会に向けたプレゼンテーションリハーサルを行い、提案の在り方について友達と意

単元全体の「評価規準例」

- ① **粘り強さ** (「積極的に」「進んで」「粘り強く」等)
- ② **自らの学習の調整** (「学習の見通しをもって」「学習課題に沿って」「今までの学習を生かして」等)
- ③ 特に**粘り強さ**を発揮してほしい内容
- ④ 単元において、**自らの学習の調整**が必要になる具体的な言語活動を、示しています。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

「新入生に部活動のよさについて紹介する」という目的のために粘り強く発表方法を工夫して思いや考えを提案しようとし、プレゼンテーションに向けた準備の進み具合や状況を自分で把握しながら完成させようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
----------	-------	----------------------

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる規準)	振り返りで見取る視点 (生徒に与える視点) 「評価 B に満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
②収集した情報を基に資料を作成した後の振り返り	・ 新入生にとって分かりやすい資料を作成するために粘り強く情報を集めたり、整理したりしようとしている。	・ 資料 「新入生に伝えるために～ということ意識して資料を作成した」
③台本を作成した後の振り返り	・ 新入生が興味を示すような発表にするために、発表方法と合わせて台本を考え、よりよいものしようとしている。	・ 紹介や 「発表では～が不十分なので～したい」
④プレゼンテーションリハーサルを行い、提案の在り方について友達と意見を交	・ 友達の意見を元に、本番に向けて発表材料の取捨選択について更に検討しようとし、友達の発表について「新入生に紹介するため」という視点から意見を	・ 意見 「○○さんの～という意見が参考になった。なぜなら新入生に紹介するのに…だから。これから…」 「○○さんの意見 (発表) が気になった。なぜなら～だから私は～したいと思う」

前段階での評価規準例「指導と評価の一体化」の考え方より、先生方はここで生徒が記述してきた事柄を見取り、支援策を考えたり、授業改善に生かしたりすることが必要になります。

単元における最終段階の評価規準例
この場面での評価を先生方は記録に残し、評定に生かすこととなります。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

評価を見取る場面	規準例 (B 概ね満足できる規準)	振り返りで見取る視点 (生徒に与える視点) 「評価 B に満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
		・ 資料を作成する際に気付いたことや意識したこと。 「新入生に伝えるために～ということ意識して資料を作成した」
		・ 紹介集会に向けて、まだ準備したいことや必要だと思うこと。 「発表では～が不十分なので～したい」
		・ 友達の意見で参考になったこと (参考にした意見)。 ・ 意見交換のときに気になったこと。
		「○○さんの～という意見が参考になった。なぜなら新入生に紹介するのに…だから。これから…」 「○○さんの意見 (発表) が気になった。なぜなら～だから私は～したいと思う」

「振り返りで見取る視点」については、事前に黒板に掲示したり、全員に口頭で伝えたりするなど、生徒の実態により工夫していただくことが考えられます。

「評価 B に満たない生徒や記述が困難な生徒への支援例」については、生徒が自分の思いを言葉にできるようなヒント例として「 」で示しています。机間支援で声掛けをして伝えたり、回収後に返す振り返りにメッセージを入れて伝えたりするなどの支援の工夫が考えられます。



最終段階での (記録に残す評価の) 「評価 B に満たない生徒や記述が困難な生徒への支援例」についても、口頭や朱書きでの支援等により、次単元の活動等につなげられるようにしていきます。

インデックス

話すこと・聞くこと

ページ	指導事項	言語活動例	「单元名」 (めあて)
話ア 12	ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	部活動について発表したり、発表について質問や助言をしたりする活動。	<u>「新生入生に自分の言葉で自分の考えを伝えよう」</u> <u>(部活動紹介をしよう)</u>
話イ 13	イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。	街の活性化のために考えたことについて議論や討論をする活動。	<u>「時間まで生討論！〇〇の街を活性化するには」</u> <u>(役割を決めて討論しよう)</u>
話ウ 14	ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	自分の趣味や好きなもの、場所について対話や質問を行う活動。	<u>「伝えよう！『私のお気に入り』」</u> <u>(プレゼンテーションをしよう)</u>
話エ 15	エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	選挙演説について自分の考えと比較しながら考えをまとめる活動。	<u>「あなたの一票が未来を変える！演説を聴いて自分の考えと比べよう」</u> <u>(生徒会選挙で投票しよう)</u>
話オ 16	オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。	クラスのキャッチコピーについて話し合い、結論を導く活動。	<u>「学校の Web ページに載せる『クラスのキャッチコピー』を考えよう」</u> <u>(クラスのキャッチコピーを考えよう)</u>

インデックス

書くこと

ページ	指導事項	言語活動例	「单元名」 (めあて)
書ア 17	ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	学校や日々の生活の中で感じた事柄について、自分の考えを書く活動。	<u>「自分の言葉で自分の考えを伝え合おう」</u> <u>(「少年の主張」の原稿を書こう)</u>
書イ 18	イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。	多様な考えができる事柄について、立場を決めて文章を書く活動。	<u>「意見文を書き、出版社へ投書しよう」</u> <u>(四コマ漫画から意見文を書こう)</u>
書ウ 19	ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	感じたことや想像したことについて、短歌や俳句、物語等を創作する活動。	<u>「国語で作品をつくり、美術でカタチにしてみよう」</u> <u>(美術展に向けて自作の短歌(俳句)をつくろう)</u>
書エ 20	エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。	「職場体験でお世話になった方々」に、手紙や電子メールの形式で「感謝の気持ち」を書く活動。	<u>「職場体験でお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えよう」</u> <u>(お礼の手紙を書こう)</u>
書オ 21	オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	学んだことについて、「ガイドブック」という形式を使用して、文章を書く活動。	<u>「職場で学んだことを生かして、効果的な『職業ガイドブック』をつくろう」</u> <u>(職業ガイドを作ろう)</u>

インデックス

読むこと

ページ	指導事項	言語活動例	「単元名」 (めあて)
読ア説 22	ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。	【説明的な文章】 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを文章にまとめ、述べる活動。	「筆者は課題をどうやって突破したか?～2分で分かる〇〇(教材文名)～読んで捉えた筆者の考えと自分の考えを比べて〇〇(聞き手)に伝えよう」 (文章を要約し、自分の考えをまとめて伝え合おう)
読ア文 23		【文学的な文章】 詩歌や物語などを読み、捉えた内容や表現の仕方について感想を交流する活動。	「登場人物の関係をニュース形式にしてわかりやすく伝え合おう」 (捉えた人物像や関係をわかりやすくまとめよう)
読イ説 24	イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。	【説明的な文章】 新聞記事について、情報を比較する活動。	「あなたが買う(購読を申し込む)ならどっち?新聞記事を読み比べてみよう」 (ディウルナバトル〔ビブリオバトル新聞記事版〕をしてチャンプ新聞を決めよう)
読イ文 25		【文学的な文章】 小説の文章を読み、理解したことや考えたことについてポップにして説明する活動。	「学校図書館に同じ筆者の作品コーナーを作り、ポップを掲示しよう」 (〇〇作品のポップを作ろう)
読ウ説 26	ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。	【説明的な文章】 報告や解説などの文章を読んで興味をもったことについて、集めた情報を活用し、考えたことなどを説明したり提案したりする活動。	「文章に書かれた〇〇の魅力について、CMにして自分の考えを伝えよう」 (文章に書かれた〇〇についてCMを作ろう)
読エ説 27	エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	【説明的な文章】 二つ以上の説明的な文章を比較し、内容や表現の仕方について理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。	「『私にとっての今年の漢字』について説明文を書いて伝えよう」 (説明の仕方をまねて伝えよう)
読エ文 28		【文学的な文章】 登場人物や作者の思いなどについて、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。	「兼好法師と清少納言について、ものの見方や考え方を比べてプロフィールを作成しよう」 (筆者のプロフィールを作成しよう)
読オ説 29	オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	【説明的な文章】 報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことについて、知識や経験と結び付けて説明する活動。	「あなたにこれを伝えたい。〇〇(教材名)を読んで印象に残った文章や事柄を基にして、興味をもったテーマをフリップボードにまとめ動画を発信しよう」 (興味をもったテーマを調べ、まとめたものを動画で発信しよう)
読オ文 30		【文学的な文章】 小説を読み、理解したことや考えたことについて説明したり文章にまとめたりする活動。	「〇〇(教材名)を読んで主人公以外の登場人物を主人公にしてリライトし、スピンオフ作品をつくらう」 (走れメロスから作品をつくらう)

領域 話すこと・聞くこと

指導事項	ア 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。
言語活動	部活動について発表したり、発表について質問や助言をしたりする活動。
「単元名」 (めあて)	「新入生に自分の言葉で自分の考えを伝えよう」 (部活動紹介リハーサルをしよう)

1. 主な活動内容 図表を用いて提案する

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【4時間】

- (1) 新入生に部活動を介绍する集会のリハーサルに向けて生徒が見通しをもち、図表を用いて提案するために、どのような順序で活動すればよいのかを生徒が計画し確認する。
- (2) 部員アンケートなどの調査・取材を行い、収集した情報を基に資料を作成する。
- (3) プレゼンテーションのための台本を作る。
- (4) 部活動紹介集会に向けたプレゼンテーションリハーサルを行い、提案の在り方について友達と意見を交換する中で、本単元で学んだ事柄について振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

「新入生に部活動のよさについて紹介する」という目的のために粘り強く発表方法を工夫して思いや考えを提案しようとし、プレゼンテーションに向けた準備の進み具合や状況を自分で把握しながら完成させようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
②収集した情報を基に資料を作成した後の振り返り	・新入生にとって分かりやすい資料を作成するために粘り強く情報を集めたり、整理したりしようとしている。	・資料を作成する際に気付いたことや意識したこと。 「新入生に伝えるために～ということを意識して資料を作成した」
③台本を作成した後の振り返り	・新入生が興味を示すような発表にするために、発表方法と合わせて台本を考え、よりよいものにしようとしている。	・紹介集会に向けて、まだ準備したいことや必要だと思うこと。 「発表では～が不十分なので～したい」
④プレゼンテーションリハーサルを行い、提案の在り方について友達と意見を交換した後の振り返り	・友達の意見を基に、本番に向けての発表方法について更に検討しようとしている。	・友達の意見で参考になったこと(参考にした意見)。 「○○さんの～という意見が参考になった。なぜなら新入生に紹介するのに～だから。本番までに…」

領域 話すこと・聞くこと

指導事項	イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。
言語活動	街の活性化のために考えたことについて議論や討論をする活動。
「単元名」 (めあて)	「時間まで生討論！〇〇の街を活性化するには」 (役割を決めて討論しよう)

1. 主な活動内容 役割を決めて討論する

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【4時間】

- (1) 役割を決めて討論会を行うことを知り、生徒が学習の進め方について見通しをもった上で提案するアイデアを決め、その根拠について材料を集める。
- (2) 「人」「自然」「行事」などで分類してグループを作り、討論会の準備をし、見通しをもった上で材料の吟味、取捨選択についてグループごとに話し合う。
- (3) 予想される質問や反論についてグループで話し合いながら、発表メモを作るとともに、他グループの主張について質問や反論をグループで話し合う。
- (4) 交代で司会者、提案者の役割を決め、討論会を行い自分や相手の主張の明確さ、より納得させるための話の構成について振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

「街を活性化」させるためのアイデアについて、根拠の適切さや論理の展開について粘り強く工夫して話の構成を考え、相手に納得してもらうため、見通しをもって、予想される反論や根拠を基に話の構成を考えている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
②グループを作り、材料について話し合った後の振り返り	・構成について粘り強く検討し、討論会の見通しをもってグループ内で作業を進めようとしている。	・グループで話し合って参考になったことや難しかったこと。 「〇〇さんの～という意見が参考になった。なぜなら～と思うから」 「話し合いで～が難しかった。なぜなら…」
③発表メモを作った後の振り返り	・相手を納得させることができるような構成や表現の工夫について粘り強く検討し、次回の討論会に向けてメモを準備しようとしている。	・グループで話し合って参考になったことや注意したこと。 「〇〇さんの～という意見が、他の(グループの)人から予想される『～』という反論に的確に答えることができている参考になった」 「～に注意した。なぜなら相手を納得させるのに…」

領域 話すこと・聞くこと

指導事項	ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。
言語活動	自分の趣味や好きなもの、場所について対話し、質問し合う活動。
「単元名」 (めあて)	「伝えよう!『私のお気に入り』」 (プレゼンテーションをしよう)

1. 主な活動内容 プレゼンテーションをする

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【4時間】

- (1) 自分の趣味や好きなもの、場所について紹介し合う活動について知り、生徒が学習の進め方について見通しをもった上で紹介する相手や目的を決め、材料を集める。
- (2) 材料を整理し、プレゼンテーションの進行案を作る。
- (3) 生徒同士で聞き合い、効果的な説明や資料の示し方について検討する。
- (4) 進行案をよりよいものにした後、(グループごとに)プレゼンテーションを行い、友達のプレゼンテーションの工夫やよさについて伝え合った後、聞き手の関心を増す工夫や同意・理解を得られるプレゼンテーションについて考え、単元全体を振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

「私のお気に入り」について聞き手に関心をもたせたり、納得させたりするために、資料の出し方や表現について粘り強く進行案を工夫し、「表現の工夫」という視点に沿って友達のプレゼンテーションについて考えたことを伝えようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
②進行案を作った後の振り返り	・粘り強く材料を検討し、プレゼンテーション資料完成までの見通しをもって進行案を作成しようとしている。	・進行案を作るのに工夫したことや次時の話合いで聞いてみたいこと。 「なぜ『お気に入り』なのか友達に納得してもらうために～を工夫した」 「～が自分では～と思うが悩んでいる部分なので…。次の話合いでは…」
④単元全体の振り返り	・前時にもらった意見を生かして構成や表現の工夫について検討し、友達のプレゼンテーションを今後の自分に役立てようとしている。	・前の時間に行った検討から今日のプレゼンテーションで変えたところ。 ・友達のプレゼンテーションの中で気が付いたことや参考になったこと。 「～という意見をもらったので、分かりやすくなるよう～の部分…」 「○○さんの～という紹介方法がよかった。なぜなら相手を納得させるために…」

領域 話すこと・聞くこと

指導事項	エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。
言語活動	選挙演説について自分の考えと比較しながら考えをまとめる活動。
「単元名」 (めあて)	「あなたの一票が未来を変える！演説を聴いて自分の考えと比べよう」 (生徒会選挙で投票しよう)

1. 主な活動内容 話を聞いて自分の考えと比べる

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【2時間】

- (①) 生徒会選挙に向けて見通しをもち、自分の考えを広げるための演説の聞き方について確認した上で、自分が「生徒会役員になったら」または「生徒会役員に望むこと」を考え、話し合う。
- (②) 自分の考えと比較しながら選挙演説を聞き、意見を述べたり質問をしたりして評価した後、比較することでどのように考えが広がったかをまとめ、(グループで)話し合う。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

生徒会役員を選ぶための演説について、論理の展開などに注意して聞き積極的に自分の考えと比べようとし、投票への見通しをもって演説を聞こうとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
①生徒会選挙に向けて見通しをもった後の振り返り	・生徒会選挙演説会のために進んで聞き方を確認し、自分の考えとの比較を投票に生かそうとしている。	・今日の学習で意識したことや次時の演説会で評価したいこと。 「私は生徒会の役員さんに～ことを望んでいるので、演説会では～について考えている人を評価したい」 「私が生徒会役員になったら～したいと思うので、他の人がどのように考えているか評価したい」
②選挙演説を評価し、考えの広がりについて話し合った後の振り返り	・前時に見いだした考えの視点と比較するために、話し手の表現や論理の展開などに注意してしっかり演説を聞こうとするともに、投票の参考にしようとしている。	・投票の参考になった候補者の発言や候補者への質問。 「〇〇さんの～という発言で、私は～と思った。」 「〇〇さんの～という質問がよかった。なぜなら…」

領域 話すこと・聞くこと

指導事項	オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。
言語活動	クラスのキャッチコピーについて話し合い、結論を導く活動。
「単元名」 (めあて)	「学校の Web ページに載せる『クラスのキャッチコピー』を考えよう」 (クラスのキャッチコピーを考えよう)

1. 主な活動内容 クラスのキャッチコピーを考える

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【2時間】

- (①) 学校 Web ページに載せるための「クラスのキャッチコピー」を決定していくことを知り、学習の進め方について見通しをもった上で、ふさわしいキャッチコピーについて考え、根拠となる材料を集める。
- (②) (グループで考えたキャッチコピーとその根拠について説明し合い、グループのキャッチコピーをまとめる。) 互い(グループ同士)のキャッチコピーを提案しながら、学校 Web ページに載せるべき最もよいキャッチコピーについてクラス全体で話し合う。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

学校の Web ページに載せるキャッチコピーについて決めるために、意見の根拠や背景について粘り強く説明したり、聞いたりしながら、決定日までの活動について、見通しをもって共通点や相違点、新たな提案などを踏まえて話し合おうとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価 B に満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
① ふさわしいキャッチコピーについて考えた後の振り返り	・クラスの実態等、根拠となる材料を粘り強く考え、ふさわしいキャッチコピーについて考えようとしているとともに、次時の話し合いに向けて説得力ある根拠を見いだそうとしている。	・今日の学習で意識して取り組んだことや難しかったこと。 「クラスのイメージとして～だと思ったので、～を出すことを意識して取り組んだ」 「～を短く言葉にすることが難しかった。そのため～」
② クラスで話し合った後の振り返り	・みんなが納得できるキャッチコピーにできるよう積極的に話し合いに参加し、結論を出すために他者の意見や考えに向き合ってクラス全体の意見を取りまとめようとしている。	・今日の話合いで大切にしたことや友達の意見で参考になったこと。 「みんなで話し合って結論を出すために～が大切と分かったので、これから…」 「○○さんの『～』という意見で一気にみんなの気持ちが一つになったように感じた。なぜなら…」

領域 書くこと

指導事項	ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。
言語活動	学校や日々の生活の中で感じた事柄について、自分の考えを書く活動。
「単元名」 (めあて)	「自分の言葉で自分の考えを伝え合おう」 (「少年の主張」の原稿を書こう)

1. 主な活動内容 「少年の主張」の原稿を書く

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【5時間】

- (1) 少年の主張大会に向けて発表原稿を作成することに生徒が見通しをもち、生徒が学習の進め方について見通しをもった上で、社会生活の中から課題を決め、自分の意見を明らかにする。
- (2) 自分の意見を支える根拠を明らかにするために材料を整理し、メモを作成する。
- (3) メモを基に構成を工夫して主張を下書きし、推敲する。
- (4) 書いた文章を読み合い、互いに質問やアドバイスをしながらよりよい表現について考える。
- (5) もらったアドバイスを基に文章を清書し、発表練習をした後、単元全体を振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

積極的に情報を収集したり主張を明確にしたりして意見文を組み立て、今までの学習を生かして論理構成を行い、伝えたいことが分かりやすく伝わるように文章を整えようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
②材料を整理し、メモを作成した後の振り返り	・文章にする材料を粘り強く検討して構成しようとし、第4時の交流活動に向けて準備を工夫している。	・今日の学習で気付いたことや読み合う交流活動に向けて注意したいこと。 「根拠をはっきりさせるために～を工夫して、説得力が増すようにした」 「～という主張が誰でも納得できるようにするために～を注意した」
⑤少年の主張原稿を清書し練習した後の振り返り	・自分の主張を聞き手に訴えられるよう、質問やアドバイスを生かしながら試行錯誤し、発表会を意識して練習方法を考えようとしている。	・参考になったアドバイスや少年の主張発表会に向けて意識したいことや注意したいこと。 「○○さんから『～』というアドバイスをもって～なるように頑張ったが、～が心配なので発表会では…」

領域 書くこと

指導事項	イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。
言語活動	多様な考えができる事柄について、立場を決めて文章を書く活動。
「単元名」 (めあて)	「意見文を書き、出版社へ投書しよう」 (四コマ漫画から意見文を書こう)

1. 主な活動内容 四コマ漫画から意見文を書く

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【6時間】

- (1) 単元のゴールへ向けて生徒が見通しをもち、根拠が明確な文章を書くために、例文を基に順序や方法について理解したり今までの学習を振り返ったりする。
- (2) 四コマ漫画を読んで自分の課題を持ち、「主張」について「事実」と「根拠となる理由」をメモする。
- (3) メモを基に構成を工夫して意見文を書き、推敲する。
- (4) 書いた文章を読み合い、互いに質問やアドバイスをしながらよりよい表現について考える。
- (5) もらったアドバイスを基に文章を清書する。
- (6) 清書を確認後、投書を提出し、単元全体を振り返り、説得力のある文章について考えたり、今後の学習や生活に生かせそうなことを見付けたりする。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

積極的に情報を収集したり根拠を明確にしたりして意見文を組み立て、立場を決めて文章を書く課題に沿って四コマ漫画を捉え、読者に意見が伝わるように文章を整えようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
③ 事実や根拠、自分の考えを基に意見文を書いた後の振り返り	・粘り強く意見文を修正し、幅広い新聞購読者を意識して説得力ある根拠や既習の文章構成の型等について検討している。	・意見文を書く際に注意したこと。 「新聞購読者は～なので、～を注意した」 「～という反論については～の部分を取り入れて主張していきたい」
⑥ 書いた文章を読み合い、質問やアドバイスを受けて文章を書き直した後の振り返り	・投書で説得力ある意見を伝えようと、質問やアドバイスを生かしながら丁寧に表現を検討している。	・友達の見解で参考になったことや本単元で特に意識したこと。 「〇〇さんの『～の話題を理由付けに挙げればよい』という意見が参考になった。なぜなら…」 「読み手の興味を引くような書き出しにするために～を工夫した」 「提出までの時間で推敲できるよう…」

領域	書くこと
指導事項	ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。
言語活動	感じたことや想像したことについて、短歌や俳句、物語等を創作する活動。
「単元名」 (めあて)	「国語で作品をつくり、美術でカタチにしてみよう」 (美術展に向けて自作の短歌(俳句)をつくろう)

1. 主な活動内容 自分の作品を創作する

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【3時間】

- (①) 読んだ詩(短歌)を参考にして自作の詩(短歌)を作り、挿絵や背景画を加えて一枚の作品に仕上げることを知り、生徒が見通しをもった上で、詩(短歌)の題材を見付ける。
- (②) 詩(短歌)のリズムなど、表現を工夫して書き、書いた詩(短歌)について、言葉を選び直したり、並べ替えたりしてよりよい作品にする。
- (③) 読み合い、互いによいと感じた表現や、感想を述べ合う。

[(美術科) 書いた作品に挿絵や背景画を描き、掲示する。)]

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

詩(短歌)の形式やリズムを用いて粘り強く言葉を選んだり、並べ替えたりしながら作品に込めた自己の思いがより読み手に伝わるよう表現を工夫し、美術科での活動と合わせて一つの展示物にすることを見通して、詩(短歌)の表現をよりよいものにしようと検討している。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
①活動への見通しをもち、題材を見つけた後の振り返り	・飾られる自分の作品の姿を想像しながら、どのような詩(短歌)がよいか考え、積極的に詩(短歌)のきまりや技法などについて調べ直したり題材を検討したりしている。	・題材を見付ける際に苦労したことや今後の作品作りで生かしたいこと 「私は最初～をテーマにしようとしていたけど、今の自分が～ということ表現したいから～に変えた。 「題材が～と決まったので、そこから連想する『～』『～』などの言葉を入れて型を整えていきたいと思う」
③読み合い、意見を交流させた後の振り返り。	・友達の思いや作品のよさを見付けようとし、友達の意見を聞いて自分の作品を見つめ直し、美術科の活動に生かそうとしている。	・友達の作品のよいところや、絵にする活動に向けて生かしていきたいこと。 「○○さんの作品は、～ということを伝えるために『～』という言葉を使って効果的に表しているところがよいと思った」 「『～の切なさが伝わってくる』と○○さんに言われて、前の時間に並べ替えてよかったと実感できた。美術では、その切なさを表現するために～したい」

「見取り方例」(第2学年)

領域 書くこと

指導事項	エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。
言語活動	「職場体験でお世話になった方々」に、手紙や電子メールの形式で「感謝の気持ち」を書く活動。
「単元名」 (めあて)	「職場体験でお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えよう」 (お礼の手紙を書こう)

1. 主な活動内容 お礼の手紙を書く

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【4時間】

- (1) 職場体験でお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えることを理解し、お礼の手紙を書く際の形式等を確認して見通しをもった上で、教材文の手紙の形式を参考に構成を考える。
- (2) 手紙の形式を踏まえて、下書きをする。
- (3) 下書きを読み合い、形式や言葉づかいに気を付けながら、互いによいと感じた表現や、感想を述べ合う。
- (4) 前時で出た(指摘し合った)意見について、クラス全体で確認した後、下書きを推敲し、清書する。封筒・はがきの書き方、電子メールの書き方を知る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

手紙の形式や敬語のはたらきについて学習したことを積極的に活用しようとし、発送日など学習の見通しをもって感謝の意を伝える文書を書こうとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
③下書きを読み合い、考えを伝え合った後の振り返り	・読み手の率直な意見や感想を大切にし、納得できる指摘については期日までに改善しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の見解で参考になったことや交流場面で難しかったこと。 ・友達の下書きに感想を伝えるときに難しかったこと。 <p>「〇〇さんの『一番お世話になった方が教えてくれたことを中心に』という意見が参考になった。なぜなら…」</p> <p>「『います』を『おります』に変えた方がよいとアドバイスしたら、「どう違うの?」と聞かれて答えられなかった。資料集の敬語コーナーで…」</p>
④清書し、各通信集団による形式について書き方を知った後の振り返り	・自分の思いや感謝の気持ちが相手に伝わるように、読み手を意識しながら形式や敬語などの不適等々の観点を中心に推敲を重ねようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を書く中で難しかったことや注意したこと。 <p>「時候のあいさつで、季節に合った文面を調べたが、それほど堅苦しくならないように…」</p>

領域 書くこと

指導事項	オ 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。
言語活動	学んだことについて、「ガイドブック」という形式を使用して、文章を書く活動。
「単元名」 (めあて)	「職場で学んだことを生かして、効果的な『職業ガイドブック』をつくろう」 (職業ガイドを作ろう)

1. 主な活動内容 職業ガイドを作る

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【5時間】

- (1) 「職業ガイドブック」をつくる活動に興味・関心をもち、活動を計画し、調べる職業を決め、情報を集める。
- (2) 複数の情報源から集めた情報を、図や記号、表などを用いて分類・整理し、目的に合った情報を精査し、取捨選択する。
- (3) 紙面構成を考え、下書きする。
- (4) 「職業ガイドブック」下書きを互いに読み合い、推敲する。
- (5) 完成した作品を読み合い、感想を伝え合った後、学習を振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

職業について、多様な方法で粘り強く情報を集めて整理し、「何のために作成するか」という学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
④下書きを互いに読み合い、推敲した後の振り返り	・読み手の感想や意見を大切にしながらガイドブックの推敲に生かそうとしている。	・友達の見分で参考になったこと。 「○○さんの『△(職業名)の仕事での面白さについて、インタビュー形式で書いてあるのが分かりやすい』という意見を聞いて自身がもてた。なぜなら…」
⑤作品を読み合い、感想を伝え合った後の振り返り	・文面の分かりやすさ等、紹介するための情報を整理しながら粘り強くガイドブックを工夫し、読み手のためになるような職業ガイドを完成しようとしている。	・完成させるまで、自分が一番こだわったことや気を付けたこと。また、友達の仕事でよかったもの。 「伺った仕事の苦勞を紹介するのに、どの画像がより伝わるか悩んだ。なぜなら…」 「○○さんの、△の仕事の年齢層を紹介しているところが…」

領域 読むこと 【説明的な文章】	
指導事項	ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。
言語活動	説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを文章にまとめ述べる活動。
「単元名」 (めあて)	「筆者は課題をどうやって突破したか?～2分で分かる○○(教材文名)～読んで捉えた筆者の考えと自分の考えを比べて○○(聞き手)に伝えよう」 (文章を要約し、自分の考えをまとめて伝え合おう)

1. 主な活動内容 文章を要約し、自分の考えをまとめる

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【4時間】

- (1) 自分の考えと比べながら筆者の考えやその根拠をまとめていく活動に興味をもち、進め方に見通しをもった上で全文を通して読んで概要を捉え、小見出しを考えながら段落分けをする。
- (2) 事例の提示や、問いと答えの関係を確かめながら読み、文章を要約する。
- (3) 筆者の見出した課題(テーマ)について、どのようにして答えを探ったのかを捉え、それについての自分の考えを発表原稿にしてまとめる。
- (4) 交代で司会者、発表者、聞き手の役割を決め、発表会を行った後、短時間で伝えられるように工夫する活動を通して、学んだこと(筆者の文章における主張、例示などの工夫や小見出しの活用)について振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

筆者の主張と主張を導いた過程を粘り強く探りながら捉えようとし、聞き手に伝えるために見通しをもって要約し、自分の考えと比べようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
③自分の考えを発表原稿にしてまとめた後の振り返り	・次時の発表会を意識し、筆者が答え(主張)を導き出す過程について探り、自分の考えについて試行錯誤しながらよりよく表現しようとしている。	・この時間に気付いたことや原稿にまとめるときに意識したこと、十分ではなかったこと。
		「筆者が答えを見付ける(導き出す)までに～ということに気付いた。」
		「原稿では自分の考えと比較するために～を意識して取り組んだ」 「～の部分について十分とは言えないので…」
④発表会を行った後の振り返り	・よりよい発表になるよう、表現の手直しや練習を繰り返そうとし、本単元で学んだ文章全体と主張、例示の関係などを、次単元の学習や生活に生かそうとしている。	・発表会までに努力したことや、今までの単元活動で今後の学習や生活で生かそうなど。
		「～に注意した。なぜなら～」 「○○したことは～に生かそうなので、これから…」

領域	読むこと 【文学的な文章】
指導事項	ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。
言語活動	詩歌や物語などを読み、捉えた内容や表現の仕方について感想を交流する活動。
「単元名」 (めあて)	「登場人物の関係をニュース形式にして分かりやすく伝え合おう」 (捉えた人物像や関係を分かりやすくまとめよう)

1. 主な活動内容 人物の設定の仕方や関係を分かりやすくまとめる

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【5時間】

- (1) 人物設定の仕方や関係をニュース形式にすることを知り、学習の進め方に見通しをもった上で全文を通して読み、あらすじについて確認し、初発の感想を書き、読みの課題を整理する。
- (2) 初発の感想から出た疑問について考え、意見を交流する。
- (3) 話し合う中心人物や考えてみたい人物の人物像について考える。
- (4) 設定や関係等の視点も含めて人物像について意見を交流する。
- (5) 捉えた人物像や関係性、設定の意図等をニュース形式にまとめる。
- (6) アナウンサー役、コメンテーター役を交互に演じながら話し合う。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

登場人物の言動の意味や筆者の意図、関係性について粘り強く探りながら捉えようとし、ニュース形式にするという見通しをもって作品の印象を伝えようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
④人物像について意見を交流した後の振り返り	・人物像を導き出した根拠について、粘り強く叙述を読み返したりノートを見直したりしながら伝えようとしているとともに、ニュース形式にまとめることを意識して交流しようとしている。	・交流するときに工夫したことや参考になった意見。 「この話では〇〇(登場人物)が重要な役割をしているので、〇〇を中心に話を進めた」 「〇〇(登場人物)について、私は～としか見えなかったけど〇〇さんの～という意見を聞いて、確かにそうともとれると感心した。なぜなら～」
⑥ニュース形式で話し合った後の振り返り	・ニュース形式にまとめるために登場人物像や筆者の意図などについて粘り強く捉えようとするとともに、本単元で学んだ文章全体と主張、例示の関係などを認識し、次時の学習や生活のために生かそうとしている。	・ニュース形式にまとめる中で難しかったことや、単元の学習を通して今後の学習や生活で生かそうなど。 「話の山場を一番伝えたかったのに…」 「主人公の行動を短くまとめるために～が難しかった。」 「〇〇したことは～に生かそうなので、これから…」

領域	読むこと 【説明的な文章】
指導事項	イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。
言語活動	新聞記事について、情報を比較する活動。
「単元名」 (めあて)	「あなたが買う(購読を申し込む)ならどっち?新聞記事を読み比べてみよう」 (ディウルナバトル〔ビブリオバトル新聞記事版〕をしてチャンプ新聞を決めよう)

1. 主な活動内容 新聞を読み比べる

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【6時間】

- (1) 自分が購読したい新聞社を選ぶことを知り、学習の進め方に見通しをもった上で同じ事柄について書かれた記事を読み、それぞれの感想をもつ。
- (2) どの記事が魅力的か選ぶ際のポイント(分かりやすさ、記事の長短、見出し、リード文等)を決め、読み比べた上で最も魅力を感じる記事を選ぶ。
- (3) ビブリオバトルのルールに則ることを知り、メモづくりなど紹介する準備をする。
- (4) 選んだ記事が同じ生徒と交流し、根拠となる理由を述べ合い、自分の準備について書き加えたり修正したりする。
- (5) ディウルナバトル〔ビブリオバトル新聞記事版〕を行い、(グループで)チャンプ新聞を決める。
- (6) 本単元を通して、新聞記事(見出しや使われる画像による印象の違い、読み手への工夫等)やディウルナバトルから学んだことを振り返り、魅力的な記事について自分なりの考えをもつ。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

聞き手を説得するために選んだ記事の魅力について粘り強く根拠を探ろうとするとともに、ディウルナバトルに向けて見通しをもちながら準備を進めようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点) 「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
④同意見の生徒と交流し、自分の準備を進めた後の振り返り	・記事を選んだ根拠について交流する中で積極的に意見を取り入れようとするとともに、ディウルナバトルに向けて準備を進めようとしている。	・交流を通して参考になったことや交流後に工夫を加えたこと。 『「写真でも見出しでも、～で、読み手の興味が高まる工夫をしている」という○○さんの意見に感心した。なぜなら…。自分のメモにも写真のことを加えて…」』
⑥魅力的な新聞記事について考えをもった後の振り返り	・聞き手を納得させるために叙述を根拠にしながら粘り強く記事のよさを紹介しようとし、チャンプ新聞を目指して本時まで準備や練習を進めようとしている。	・ディウルナバトルに向けて苦労したことや工夫したこと。 「聞き手を納得させるために～が難しかったので、同じ記事を選んだ○○さんに聞いてもらったときに…」

領域	読むこと	【文学的な文章】
指導事項	イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。	
言語活動	小説の文章を読み、理解したことや考えたことについてポップにして説明する活動。	
「単元名」 (めあて)	「学校図書館に同じ筆者の作品コーナーを作り、ポップを掲示しよう」 (○○作品のポップを作ろう)	

1. 主な活動内容 ○○作品のポップを作る

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【6時間】

- (1) 学校図書館を活性化させるために作品コーナーで掲示するポップを作ることを知り、学習計画をたて、初発の感想をもつ。
- (2) 初発の感想で見いだした疑問やクラスで話し合いたいと思った事柄について考え、意見を交流する。

※(0) 家庭や学校での読書時間を活用して、同じ筆者の作品を読み、作成したい作品を選ぶ。

※学習計画の時数としてはカウントしない活動

- (3) 練習のため、教材文でポップを作成し(下描き程度)、題名、作者名、印象的な場面、印象的な言動、引用文などの必要な項目について作品をまとめ、互いに紹介し、感想を伝え合う。
- (4・5) 前時の学習を生かし、自分が選んだ同じ筆者の作品を基にポップを作成する。
- (6) ポップの発表会を開き、構成や内容等について意見を出し合い、必要な場合は作品の修正を行った後学校図書館に掲示する。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

ポップを作成するために各項目にあてはめる内容について積極的に見付け出そうとし、学校図書館に掲示するために、見通しをもって作業の進み具合を確認しながら準備しようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
③教材文でポップ作りの練習をし、紹介し合った後の振り返り	・積極的にポップの項目について考え出そうとし、本時の学習を本番のポップ作りに生かそうとしている。	・本番のポップ作りに役立ちそうなことや友達の見解で参考になったこと。 「前の時間に話し合った中で、この話の山場は～と思ったから引用文では…」 「○○さんの～という意見は背景の色に悩んでいたのが参考になった」
⑥ポップの発表会をし、掲示した後の振り返り	・学校図書館の作品コーナーに掲示するために、ポップの構成等について粘り強く工夫しようとし、閲覧者にとって見やすさや分かりやすさを検討しようとしている。	・ポップ作りで苦労したことや工夫したこと。 「～について説明書きが長くなってしまい、簡単でインパクトのある項目になるか解決するのが難しかった」 「場面の様子を色分けすることで、…」

領域	読むこと 【説明的な文章】
指導事項	ウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。
言語活動	報告や解説などの文章を読んで興味をもったことについて、集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする活動。
「単元名」 (めあて)	「文章に書かれた〇〇の魅力について、CMにして自分の考えを伝えよう」 (文章に書かれた〇〇についてCMを作ろう)

1. 主な活動内容 文章に書かれた〇〇についてCMを作成する

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【6時間】

- (1) 教材文を通読し、テーマである〇〇からCMを作る活動に興味をもち、進め方に見通しをもった上で小見出しを考えながら段落分けをする。
- (2) 図や写真と文章との関連や、事実と意見等の関係を確認しながら読み、文章を要約する。
- (3) 要約を基に筆者の考えを捉え、それについての自分の考えをまとめ、クラス内で伝え合う。
- (4) 筆者の考えと自分の考えを基に〇〇についてCMの台本(絵コンテ)を作成する。
- (5) 作成した台本(絵コンテ)について互いに紹介し合い、出された意見を基に、視聴者にとってよりよいCMになるよう修正する。
- (6) CM発表会を開き感想を伝え合った後、文章を基にCMを作成する活動を通して学んだことを振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

〇〇について、粘り強く筆者の主張と自分の考えをまとめて短時間のCMを作成しようとし、完成形を見据えながら、CM作りに欠かせない資料や図表を吟味しようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
③筆者の主張を基に自分の考えをまとめ、交流した後の振り返り	・文章の解釈や自分の考えを粘り強くまとめようとするとともに、次時からの台本作りに生かすために多様な意見を聞こうとしている。	・筆者の考えや自分の考えをまとめるのに苦労したことや友達の意見で参考になったこと。 「短い言葉で要約するために…」 「〇〇さんの『～』がまとめられていて…」
⑤自分の台本について出た意見を基に修正を加えた後の振り返り	・よりよいCMを作成するために粘り強く修正を検討しているとともに、発表会に向けて準備を進めようとしている。	・今日の発表で大切にされた資料や友達の意見で参考になったこと。 「～の図が〇〇にとって重要だと思ったのでCMに使用した。なぜなら…」 「『主張が分かりやすい』という意見を〇〇にもらって自信がついた。本番では…」
⑥発表会後に単元を通して学んだことの振り返り	・分かりやすさを意識しながら進んでよりよいCMを作成しようとし、本時まで準備や練習を進めようとしてきている。	・本番で大切にされたことや、準備したのに発表会本番でうまくいかなかったこと。 「～と図をもっと分かりやすくしたいと思ったけど…、もっと～すればよかった」

領域	読むこと	【説明的な文章】
指導事項	エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	
言語活動	二つ以上の説明的な文章を比較し、内容や表現の仕方について理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。	
「単元名」 (めあて)	『「私にとっての今年の漢字」』について説明文を書いて伝えよう (説明の仕方をまねて伝えよう)	

1. 主な活動内容 構成や論理の展開などをまねて伝える

2. 学習計画 (○数字は見取る場面) 【7時間】

- (1) 「私にとっての今年の漢字」を説明するために、二つ(以上)の文章の構成や論理の展開、表現の効果を探っていくことについて見通しをもち、それぞれの文章について「説得力」という視点で読みながら比較する。
- (②③) それぞれの文章において、文体の違いや表現の技法について気付いたことを紹介し、「主張」「根拠」「例示」「問い」「答え」「補足」等をキーワードに段落構成を確認する。
- (4) それぞれの文章における筆者の主張について自分の考えをまとめ、互いに伝え合い、まねたい方の文章を改めて選び、その理由とともに考える。
- (⑤⑥) 選んだ文章のよさについて交流し、最終的な選択をするとともに、自分にとっての一年を象徴する漢字一字を考えて構成や表現の工夫を真似ながら説得力ある文章を作成する。
- (7) 出来上がった文章をクラスで読み合った後、説得力ある文章の書き方について単元全体を振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

今年を象徴する漢字一字を説得力ある文章で説明するために、粘り強く構成や表現を模倣しながら自分の文章を工夫しようとするとともに、今まで学習した表現技法や文章の構成を見いだした経験を生かして、自分の主張を表すのにふさわしい文章を選択しようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
②③それぞれの文章を表現の工夫や構成で確認した後の振り返り	・表現の技法や構成について積極的に調べ理解しようとするとともに、筆者が説得力を増すための工夫を見付けようとしている。	・文章の違いを探るのに難しかったことや役立ったこと。 「どちらも説得力があると思うけど…」 『「擬人法をうまく使っている』という○○さんの意見が～と思った。
⑤⑥最終的に真似たい文章を選択し、自分の文章を作成した後の振り返り	・選んだ文章の表現や構成を真似ながら粘り強く自分の文章に生かそうとするとともに、自分自身の主張にふさわしい漢字と文章を選択しようとしている。	・最終的に選んだ文章の真似したいことや、漢字を選ぶのに苦労したこと。 「冒頭で主張を一言で表すことで…」 「○という漢字にしたけど、自分の思いが全部詰まっているかは…」

領域	読むこと	【文学的な文章】
指導事項	エ 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	
言語活動	登場人物や作者の思いなどについて、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動。	
「単元名」 (めあて)	「兼好法師と清少納言について、ものの見方や考え方を比べてプロフィールを作成しよう」 (筆者のプロフィールを作成しよう)	

1. 主な活動内容 兼好法師と清少納言のプロフィールを作成する

2. 学習計画 (○数字は見取る場面) 【6時間】

- (1) 作者のプロフィールをそれぞれ製作することに興味をもち、閲覧者など見通しをもった上で仮名遣いに注意しながら音読し、資料集等を使ってそれぞれの時代や歴史的背景について理解する。
- (2 3) 「枕草子」「徒然草」を季節感、情景や人間観等の視点で読み、捉えた筆者の考え方について感想を伝え合う。
- (④⑤) それぞれの筆者のものの見方や考え方を中心にまとめ、自分の考えと比較したものを添えてプロフィール表を作成する。
- (⑥) 出来上がったプロフィール表を読み合い、感想を伝え合った上で、よりよいプロフィール表になるように修正して完成させる。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

兼好法師と清少納言それぞれのものの見方や考え方について、粘り強く調べたり読み取ったりしようとし、プロフィールの作成に向けて、捉えた筆者の見方や考え方を表現しようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点 (生徒に与える視点)
		「評価 B に満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
④⑤それぞれのプロフィール表を作成した後の振り返り	・筆者の見方や考え方について叙述や資料を基に粘り強くまとめようとし、前時までの学習を生かしてプロフィールを作成しようとしている。	・プロフィール表を作成するのに難しかったことや工夫したこと。 「表にするときに見やすくなるように～の違いを短くまとめるのが難しかったので、できるだけ～になるように工夫した」
⑥感想を伝え合い修正を加えた後の振り返り	・2人の見方や考え方の違いについて、積極的に交流しながら多様な考えを見付けようとし、プロフィールの完成に交流を生かそうとしている。	・この時間で修正した理由や、参考になった友達の意見。 「兼好法師の人の見方で～という言葉を使ったけど『～』に変えた。理由は…」 「2人の違いについて、『美学』という言葉で比べていた○○さんの表がとても参考になった。なぜなら～」

領域 読むこと 【説明的な文章】	
指導事項	オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。
言語活動	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことについて、知識や経験と結び付けて説明する活動。
「単元名」 (めあて)	「あなたにこれを伝えたい。〇〇(教材名)を読んで印象に残った文章や事柄を基にして、興味をもったテーマをフリップボードにまとめ、動画を発信しよう」 (興味をもったテーマを調べ、まとめたものを動画で発信しよう)

1. 主な活動内容 興味をもったテーマを調べフリップボードにまとめる

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【6時間】

- (1) 文章から興味をもった事柄について調べ、動画を発信することを見通し、伝えたい相手を確認後に教材文を読み、初発の感想を書いて交流する。
- (2) 教材文の構成を確認し小見出しを付け、文章を要約する。
- (3) 文章から興味をもった事柄について学校図書館や SNS 機器等を活用して調べフリップに載せる資料を集める。
- (4) 発信するためのフリップボードを作成し、それを使いながら発表する準備をする。
- (5) クラスで発表会を行い、意見を交流してよりよい発表になるよう修正する。
- (6) 伝えたい相手に動画を発信し、単元全体を振り返る。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

自分が興味をもった内容を調べ、動画を発信するために粘り強く調査をし、動画にするという課題に沿って、相手に分かりやすい発表になるようフリップボードに短い言葉や図表を用いながら準備を進めようとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
		「評価 B に満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」
③発表に必要な資料を集めた後の振り返り	・フリップボードで説明するために粘り強く調べ、動画発信やフリップ作りに生かそうとしている。	・調べるために苦労したことや、フリップボードに生かせそうなこと。 「～が分からなかったので～で調べた。…」 「〇〇さんへのインタビュー記事の中で『～』という言葉が印象的だった。フリップボードには…」
⑤発表の意見を交流した後の振り返り	・積極的に意見交流を行い、自分が調べたことを基に説明の仕方やフリップボードの修正を検討しようとしているとともに、動画作りに向けて準備や練習を進めようとしている。	・参考になった友達の意見や動画作りのなかで注意したいこと。 「〇〇さんの『発信する相手が～なら～した方が分かりやすい』という意見に納得したので…」 「説明するときには、相手に失礼のないよう…」

領域	読むこと 【文学的な文章】
指導事項	オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。
言語活動	小説を読み、理解したことや考えたことについて説明したり文章にまとめたりする活動。
「単元名」 (めあて)	「○○(教材名)を読んで主人公以外の登場人物を主人公にしてリライトし、スピノフ作品をつくろう」 (走れメロスから作品をつくろう)

1. 主な活動内容 「走れメロス」からスピノフ作品をつくる

2. 学習計画(○数字は見取る場面)【8時間】

- (1) スピノフ作品をつくることに興味をもち、完成作品の読み手を確認し、見通しをもった上で全文を通読し、初発の感想を伝え合う。
- (2) 前時で出された生徒による疑問や話し合いたい事柄について意見を交流する。
- (3) 「メロス」「セリヌンティウス」「王(ディオニス)」「妹」等の人物について探り、意見を交流する。
- (4・5) 自分が書きたいスピノフ作品の主人公を選択し、メロスが家から城へ戻るまでの間について叙述を根拠に物語を創作する。
- (6) 下書きした原稿を互いに読み合い、感想や意見を出し合う。
- (7) 前時の意見を基に作品をよりよくするために修正を加える。
- (8) クラスで発表会を行い単元全体を振り返り、読んでほしい相手に渡せるよう清書をする。

3. 主体的に学習に取り組む態度 評価規準例

主人公を変更したスピノフ作品をつくるために、粘り強く各段落の場面や情景、人称等に着目して人物像を捉えようとするとともに、立場を置き換えたスピノフ作品を作るという課題に沿って、文体や描写の方法等にも着目しながら教材文を読み取ろうとしている。

評価を見取る場面	評価規準例 (B 概ね満足できる状況)	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点)
③それぞれの登場人物について意見を交流した後の振り返り	・それぞれの登場人物について、積極的に意見を交流しながら粘り強く人物像を探ろうとし、下書きに向けて主人公を決定するなどの、準備を進めようとしている。	振り返りで見取る視点(生徒に与える視点) 「評価Bに満たない生徒や記述の仕方等で悩む生徒に示す話型等」 ・参考になった友達の意見や、主人公にしたいと思った人物。 「最初王は～と思っていたけど、○○さんの『～』という意見を聞いて…」 「～が人間味を感じたので○○を主人公にしたいと思う。…」
⑦作品に修正を加えた後の振り返り	・スピノフ作品をよりよくするために粘り強く修正を検討するとともに、完成に向けて、作品全体を見据えながら作業を進めようとしている。	・修正を加えた理由や、やりたかったけど思い通りにいかなかったこと。 「『～したら場面が盛り上がる』という意見を聞いて、臨場感を出すために『～』という会話文を加えてみた。すると…」 「～の場面をより大切にしたいと思ったが…」